

令和6年度 第6回デジタル地域通貨利用促進委員会会議録

1. 開催日時
令和6年12月24日（火）10時00分～11時30分
2. 開催場所
名取市役所議会棟 6階第2委員会室
3. 出席者
宮崎委員、千葉委員、松野委員、熊谷委員、佐藤委員、来栖委員、小畑委員、小平委員
4. 欠席者
赤間委員
5. 出席者
(委員長要請による出席者)
名取市商工会：菊地主事
名取市 企画政策課：針生課長 商工観光課：守課長、松浦主幹
㈱NTTカードソリューション：興野大将
NTT 東日本㈱本社：長谷課長、藤原凌太郎
宮城支店：久保課長（DX推進アドバイザー）、谷平一久
(リモート) 原田駿一、菅原史明
(事務局)
DX推進室 成田室長、新開室長補佐、伊藤主事
6. 宮崎委員長あいさつ
・年末のキャンペーン、年明けの動きの共有等、よろしく願います。
7. 傍聴者の報告及び会議の記録方法の確認
・本委員会は公開対象とし、本日の傍聴者は0名。
・委員名記載の要点筆記で後日公開することを報告。
8. 資料

(1) なとりコインの利用実績について	…【資料1】
(2) 第4回利用促進キャンペーンの実施内容について	…【資料2】
(3) 第5回利用促進キャンペーンの実施について	…【資料3】
(4) 利用者向けアンケートの設問の検討について	…【資料4】
(5) 前回の議事録	…【資料5】
(6) カードタイプのキャンペーンPRグッズ	…【資料6】
9. 議事内容
◇なとりコインの利用実績について
(事務局)
・ユーザ数：2,564名 [12月15日時点]
・11/20から10%還元キャンペーンを実施中。11月後半からユーザ数が伸びている。11/25の週には64名の新規登録があった。
・男女比、市内市外の大きな変化はなし（男性1,077名、女性1,487名 市内2,216名、市外348名）

- ・年代別は30代～50代が多い。
- ・実証期間外の登録者は市内333名、市外61名
- ・チャージ合計：519万円（12/15時点）
- ・10%還元キャンペーンの効果で11月後半からチャージも伸びている。
- ・男女比は変化なし。年代別では40代がトップになっている。また10歳未満のチャージがあった。
- ・決済金額は約379.3万円で、目標600万円に対して63.21%の進捗。（12/15時点）
- ・チャージ比も73.08%で前回48.62%から大きく伸びている。
- ・11月最終週から決済金額が最高額を更新し続けている。＝キャンペーンの効果と認識。
- ・多くの年代で前回の倍近い決済額、10歳未満の利用もあった。
- ・紙、プリカ（＝行政ポイント、商工会購入）の決済が約5.5万円あった。
- ・業種別の決済金額の割合は前回と変わらない。
- ・地区別では増田、増田西が減少。閑上、下増田、愛島が伸びている。
- ・10%還元キャンペーン中間報告。決済額は約158万円で予算比 約26%。参加ユーザ212名。（アクティブ128名、休眠63名、新規21名）。休眠ユーザの掘り起し、新規ユーザ獲得に一定の効果があった。

◆質疑応答等

（委員）

- ・今日時点の状況は？

（事務局）

- ・今日時点のデータはないが、12/22時点では決済額が約468.6万円。チャージは572.3万円。ユーザ数2,584名。

（委員長）

- ・8月から4ヶ月程度で400名伸ばしている。浸透してきている。金額もキャンペーン効果で伸びている。キャンペーン後の検討は必要。学生と名取に授業で来て説明もいただいた。地元で利用されている店となとりコインの利用傾向は似ていると思う。名取市民の買い物傾向が掴める。

（商工会）

- ・歳末大売り出しで2店舗が新たになとりコインの加盟店になった。
- ・QRカードタイプで配布しているが、そのお店が読取りに対応していないというケースがあったため、他店を紹介した。

◇第4回利用促進キャンペーンの実施内容について

（事務局）

- ・前回事務局案で提示した内容で実施。
- ・新規ユーザ獲得にウエイトを置いたキャンペーン。

◇第5回利用促進キャンペーンの実施について

（事務局）

- ・行政ポイント付与事業の利便性向上のための実証実験を想定。
- ・マイナンバーカード認証で登録。

◆質疑応答等

（委員長）

- ・PRカードも新規登録をアピールした方が良かったかなとは思っている。

（委員）

- ・ポスターは？

(事務局)

- ・ポスターは商工会経由で配布。

(商工会)

- ・カード 50 枚、チラシ 1 枚を各店舗に郵送 or お届け。もう届いている頃。

(委員)

- ・480 名の算出根拠は？新規登録 300 名は PR カードとポスター掲示だけで獲得予定？

(事務局)

- ・これまでのキャンペーンでの参加者が 180 名程度。新規登録で 300 名分の予算化をした。
- ・カードタイプとチラシで PR。あわせて広報なとり、なとラジ、プレスリリースも活用。

(委員)

- ・プレスリリースはどこに載る？

(事務局)

- ・新聞への掲載等を期待している。

(委員)

- ・市長の会見では PR しない？

(事務局)

- ・今回はしない

(委員)

- ・プレスリリース予定日は？

(事務局)

- ・昨日行った。

(委員)

- ・3 新規登録 300 名は達成できるのか？

(事務局)

- ・名取市の成人式でお祝いになとりコインをあげる予定。

(委員)

- ・新成人への配布予定数は？

(事務局)

- ・700 人程度

(委員)

- ・わかりました。

(委員)

- ・幼小中のお母さんに新入学で使ってもらうとかもあると思う。

(事務局)

- ・熊谷委員にも協力いただいて 11 月の秋祭りでなとりコインのアンケートを取った。使ってもらえる世代は若年層 (20 代~40 代) であった。ただ、行政事業なので高齢者にも使ってもらえる仕組みになるように配慮したい。

(委員)

- ・愛島とか下増田で活躍している中学生に教育委員会の管轄だとは思いますが、行政ポイントに近い形で提供してもいいと思う。

(委員長)

- ・学校への PR は？

(事務局)

- ・学校にはしていない。

(委員長)

- ・中学生だと第 1 回、第 2 回キャンペーンの参加条件である 5,000 円チャージは厳しい。高校生の小遣いが 5,000 円。お年玉とかじゃないと。

(委員)

- ・家族で紹介キャンペーンとか、親がサポートするというのはアリだと思う。
(委員長)
- ・第5回利用促進キャンペーンの内容は次回確認できればと思う。

◇利用者向けアンケートの設問の検討について

- (事務局)
- ・設問数を削減。
 - ・ナトぼた利用者は対象外。
 - ・問3, 4は2つに分割。
 - ・問5はライトユーザかヘビーユーザか等を確認。
 - ・問7で利用のきっかけを聞いて今後の普及促進策に役立てたい。
 - ・問8は加盟店営業に活用。ナトぼたでも聞く予定。
 - ・問9は属性情報とクロス集計をして今後の事業の効果的な展開やターゲティングに役立てたい。
- (委員長)
- ・流通量やユーザ数が限定的なので評価を受けられる状況ではない。さらに利用促進するために意見を伺う。
 - ・問5の③は行政ポイントとモニターを分けて聞いた方が良い。
 - ・問6はネガティブな質問になっているので、追加で「チャージして利用する理由」を聞いてもいいと思う。
 - ・問7のきっかけはモニターアンケートでも聞いているので削ってもいいのではないかと。「なとりコインの満足度」を聞いてもいいのではないかと。
 - ・問8は店だけでいいのか、「町内会で使いたいとかの事業」を聞いてもいいのではないかと。
 - ・問9もいるかどうか。
 - ・「チャージして利用する理由」と「満足度」を追加。問7と9は要検討。

◆質疑応答等

- (委員)
- ・問10の本事業という表現はもっと分かりやすくした方がいいのでは？
- (委員)
- ・問6は全員回答？
- (事務局)
- ・問5の回答で分岐する予定。
- (委員)
- ・問8は何か所まで書ける？、問6のその他の理由は？主な理由を選択式にするか、理由を書いてもらうか。
- (事務局)
- ・その他は自由記述での対応を考えていた。問8も店名を自由記述で書いてもらうと考えていた。
- (委員)
- ・アンケートはQRコード付けて、テストページを見られるようにした方が良い。
- (委員長)
- ・デモページをメールベースで共有いただく。
- (委員)
- ・フォームの説明文もどうなるのか。問1に10代未満を入れるか。
- (委員長)
- ・フォームの説明文、問合せ方法、個人情報の扱いとかの記載。
- (委員)

- ・メールアドレス登録者へのアンケートなので、問6の「登録が面倒くさい」の回答は「チャージが面倒くさい」とかにした方が良い。
(委員長)
- ・モニターアンケート時の回答を書いているので直す。
(委員)
- ・職業は？
(委員長)
- ・前回の打合せ時に項目を増やさないようにした。
(事務局)
- ・アンケートフォームを作成し、メールで連絡するので、ご意見いただければと思う。

◇ご意見・感想

- (委員)
- ・高齢者の登録をどうやって増やすかが必要。カードの利用も増えれば広がるかなと思う。
(委員長)
- ・高齢者向けキャンペーンの状況は？
(事務局)
- ・はじめてスマホを購入した65才以上の方に、なとりコイン3,000円分をあげるキャンペーンをしているが7月から2件しか申請がない。広報なとりの12月、1月にも掲載しているが伸びていない。高齢者に刺さる企画は迷っている。行政ポイントの配布は10月からなので、数量や世代のとりまとめは出来ていない。
(委員長)
- ・スマホ登録の高齢者へはポイントで配布？カードで配布？
(事務局)
- ・ギフトURLで配布。ショップで対象者に申込用紙を渡している。渡した数は10件ちょっとで、申請は2件。年末年始の広報なとりでPRして、帰省した子どもや孫が見て話題になればと思っている。
(委員長)
- ・ギフトURLはハードルが高い。その場でカードを渡してもいいのではと思う。
(委員)
- ・他社と競合関係にならずになとりコインを使ってもらうのは難しいと思う。
(委員長)
- ・民間のポイント事業と地域通貨の融和は課題である。
(委員)
- ・市民にいかに「自分事」にしてもらうか、「なとりコイン」が名取にあるからと言ってもらせるようにしたい。
(委員長)
- ・市民に活用方法を検討してもらうところまで行ってないが、今後は出てくると思う。
(委員)
- ・女性目線、子育て目線、商業者目線で発言させていただいた。みやぎポイントは潤沢な予算で、知事まで出てきて自虐的なネタでPRしていた。両方の行政ポイントに参加するのはハードルが高い。使い分け、メリットとか考えていた。
(委員長)
- ・みやぎのポイント事業との共存、棲み分けがうまくいっていない。なとりコインの今後も議論できればと思う。
(委員)
- ・観光物産協会として、観光面での力添えが出来なかった。
(委員長)

- ・いまは市民ユーザが多数だが、観光ユーザへの振り向け、モニターツアーで使ってもらいとかで力添えをもらえれば。

(委員長)

- ・もっと裾野を広げていければと思う。

(委員)

- ・行政の中だけでは難しいところ、ご意見をいただいたおかげで流通額 600 万円も見えてきた。なとりコインは、地域のコミュニティの活性化や外貨を稼ぐ（観光客等）ためのツールだと思う。今年度はその中でシェアを広げていく（流通額、ユーザ数）ことを考えていて、地道だが結果がついてきた。来年度以降は保育園の雑費の支払いとかに使えればと思う。バウチャー的な使い方が出来ないかも議論している。

(委員)

- ・なとりコインのデザインを再考して欲しい。カーナくんでは分からない。学生にデザイン公募して、なとりコインを知るキッカケにするとか。

(委員長)

- ・検討いただければと思う。

◇その他

(事務局)

- ・次回のスケジュール、第7回は1/31(金)13:30からを予定している。

10. 閉 会

(参考)

●宿題事項

(名取市)

- ・アンケートフォーム（デモ版）を作成し、メールで委員の方に周知。